

公益財団法人青森学術文化振興財団
令和4年度事業報告附属明細書

区 分		交付決定		交付実績	
		件数 (件)	助成決定額 (円)	件数 (件)	助成確定額 (円)
青森県内の地域における学術・文化の振興に係る事業に対する助成	①地域の振興に係る研究事業(チャレンジ)	7	6,699,000	7	6,285,001
	②地域の振興に係る研究事業(一般)	15	4,103,000	15	3,267,232
	③公開講座開催事業	16	3,484,000	16	2,811,336
	④学術・文化振興事業	3	812,000	3	741,000
	⑤学術図書出版事業	1	300,000	1	300,000
	小計	42	15,398,000	42	13,404,569
青森公立大学の国際交流を中心とした教育活動に対する助成	⑥人材育成事業	2	2,515,000	0	0
	⑦教員研修事業	0	0	0	0
	⑧国際交流・教育事業	0	0	0	0
	小計	2	2,515,000	0	0
合計		44	17,913,000	42	13,404,569

[青森県内の地域における学術・文化の振興に係る事業に対する助成]

①地域の振興に係る研究事業（チャレンジ）

青森県内の地域振興を目的とした研究事業で、他の大学等、行政機関、経済団体等と連携して行うもの

[助成決定額] 7件 6,699,000円
 [助成確定額] 7件 6,285,001円

No	助成事業者名		事業名	区分	事業実施概要（事業廃止理由）	成果物の還元方法	助成決定額(円)	助成確定額(円)
1	青森公立大学	教授 遠藤 哲哉	バーチャル・コミュニティMICEのプロモーション研究事業	新規	米国やフィリピンの研究者の協力を得て、zoom等を活用し、バーチャルなコミュニティMICEのプロモーションについて実践的に研究した。	オンライン研究会等を開催するとともに、青森県産品や地域ビジネスを海外に紹介した。報告書を大学ホームページで公開した。 リポジトリ等掲載：令和5年3月	1,000,000	933,350
2	青森公立大学	教授 佐々木 てる	造形芸術としての「ねぶた」：祭礼行事における制作物としての灯籠、行燈、山・鉦・山車の比較から事業	新規	「ねぶた」の造形に焦点を当て、その技術や歴史的な背景について、他の祭礼の山車や灯籠との比較研究を行った。	報告書を関係機関に送付するとともに大学ホームページで公開した。シンポジウムを開催した。 リポジトリ等掲載：令和5年3月	1,000,000	1,000,000
3	青森大学 社会学部・ 櫛引研究室	教授 櫛引 素夫	『人口減少×新幹線』社会の再デザイン③ーポストコロナ時代の仕事づくり・働き方の研究と提言事業	3回目	「移住・定住と新幹線」を中心テーマに据え、山形県内の取組や金沢大学・信州大学の留学生定着事業について調査したほか、JR津軽線の存続についても調査した。	研究成果を大学ホームページ、紀要で公開した。新幹線フォーラムを開催し、調査内容を報告した。事業成果報告書を研究協力者、青森県政記者室等に送付した。 リポジトリ等掲載：令和5年3月	708,000	443,580
4	青森大学附属 総合研究所 SDG s 研究 センター	センター長 藤 公晴	青い森におけるローカルSDG s のシナリオ創出に関する調査研究①事業	新規	食・農の分野と木質バイオマスの分野における先進事例の調査等を行い、これらの分野に係る若者の価値観と行動変容を目的とした教育機会の提供とその効果に関するデータ収集をした。	報告書を大学ホームページで公開した。 リポジトリ等掲載：令和5年3月	999,000	942,603
5	八戸工業大学 工学部	教授 田中 義幸	種差海岸にてドローンを活用して、市民・学生協働の学術成果をあげることに伴い八戸市の魅力を再認識する事業	3回目	八戸市の種差海岸において、ドローンを用いた空撮及び合成を行い、地上植生を位置情報とともに記録することで、環境要因の変化に対する生物の応答の様子を捉えた。	研究成果を大学ホームページで公開した。令和4年度の講義及び公開講座等に活用した。令和5年度の公開講座等で活用予定。 リポジトリ等掲載：令和5年4月	1,000,000	1,000,000

No	助成事業者名		事業名	区分	事業実施概要（事業廃止理由）	成果物の還元方法	助成決定額(円)	助成確定額(円)
6	八戸工業大学	教授 小坂谷 壽一	「自動採譜装置」を使って、楽譜の無い邦楽楽器（津軽三味線）の譜面化と消えゆく伝統音楽の保存を目的とした事業	2回目	プロの三味線奏者の演奏及び伝統音楽保存用自動採譜装置により民謡の採録と譜面化等を行った。	北東北3県の公的教育機関や八戸市図書館に自動採譜装置で製作した楽譜を寄贈した。日本音響学会秋季全国大会での講演等により研究成果を公表した。大学ホームページに掲載した。 リポジトリ等掲載：令和4年9月	1,000,000	1,000,000
7	八戸学院大学	講師 井上 丹	浅虫地域における持続可能な観光振興・地域づくりのための実証調査事業	2回目	青森市浅虫地区において、地域住民と地域事業者が協働しながら「あさむし月末マルシェ」を開催するとともに、地域で学び実践する教育プログラムを構築し、受講者と地域の関与を検証した。	研究成果を八戸学院地域連携センター「産業文化研究第32号」及び機関リポジトリに掲載した。浅虫温泉観光協会会長及び浅虫まちづくり協議会会長に報告した。 リポジトリ等掲載：令和5年3月	992,000	965,468

②地域の振興に係る研究事業（一般）

青森県の地域振興を目的とした研究事業

[助成決定額] 15件 4,103,000円
 [助成確定額] 15件 3,267,232円

No	助成事業者名		事業名	区分	事業実施概要(事業廃止理由)	成果物の還元方法	助成決定額(円)	助成確定額(円)
1	青森公立大学	教授 佐々木 てる	青森県内の外国人材と多文化化について事業	3回目	青森県内の外国人材の受入について、県内での聞き取り調査等により、その現状や課題を把握する。	報告書を関係機関に送付するとともに大学ホームページで公開した。研究内容を講義、講演で紹介した。 リポジトリ等掲載：令和5年3月	300,000	161,320
2	青森公立大学	教授 丹藤 永也 地域連携センター事務 長 鹿内 一徳	青森市の小学校及び中学校英語科におけるパフォーマンス評価の実態調査に関する研究事業	新規	青森市内の小中学校及び中学校へのアンケート調査により、新学習指導要領のスピーキングのパフォーマンス評価について分析した。	小中学校英語教員等を対象に研究会を開催した。報告書を青森市内小中学校に配布するとともに大学ホームページで公開した。 リポジトリ等掲載：令和5年4月	228,000	198,282
3	青森公立大学	講師 江連 敏和	新型コロナウイルス(COVID-19)に関する県内各市町村と外国自治体との行政広報の国際比較事業	新規	青森県内各市町村の公式ウェブサイト上の新型コロナウイルスに関するメッセージ内容を調査し、それを海外都市と比較対照し、多様な情報の受け手に適切迅速に情報提供できる方法を考察した。	報告書を大学ホームページで公開した。学会発表及び日本実用英語学会叢への論文掲載を行った。 リポジトリ等掲載：令和5年3月	200,000	110,620
4	青森公立大学	講師 安田 公治	青森市の子育て環境の維持に関する実地調査事業	新規	青森市内の子育て世代を対象としたアンケート調査と聞き取り調査を行い、子どもの教育環境が定住の意向にどのような影響を与えているか調査した。	報告書を地域住民に配布するとともに、大学ホームページに掲載した。 リポジトリ等掲載：令和5年4月	283,000	20,087

No	助成事業者名		事業名	区分	事業実施概要(事業廃止理由)	成果物の還元方法	助成決定額(円)	助成確定額(円)
5	弘前大学 農学生命科学部	准教授 石本 雄大	「少子高齢化地域における生業および生活の在来知に関する再評価と活用」事業	3回目	少子高齢化地域において、地域の食産業の新展開の観点から、在来野菜生産者等にインタビュー調査を実施するとともに、生活の在来知を把握する糸口となる写真資料を収集し写真展開催を支援した。	研究成果を大学ホームページで公開した。小学校にまつわる写真展の開催を支援した。青森市浅虫地区において地域情報発信に関する講習会を開催した。 リポジトリ等掲載：令和5年3月	300,000	252,917
6	青森県立保健大学	准教授 井澤 弘美	青森県産ナガイモ由来非加熱レジスタントスターチによる食後中性脂肪上昇抑制効果の検証事業	新規	レジスタントスターチ（難消化性でんぷん）を非加熱で摂取できるナガイモについて、加熱処理がレジスタントスターチに与える影響や、高脂肪食を与えられたマウスにおいて、ナガイモ由来のレジスタントスターチが資質代謝にもたらす影響を調査した。	研究成果を大学ホームページで公開した。令和5年度開催予定の日本栄養・食糧学会大会で発表予定。 リポジトリ等掲載：令和5年3月	300,000	300,000
7	青森大学 脳と健康科学研究センター	教授 日浦 幹夫	「高齢健常者の自己効力感の向上、認知機能の保持を目的とした運動介入」事業	新規	青森市在住の高齢者を対象とし、運動介入の基礎段階である運動機能の計測と、行動様式の背景に関する質問紙調査を実施した。	研究成果を機関リポジトリで公開した。 リポジトリ等掲載：令和5年3月	274,000	82,420
8	青森中央学院 大学経営法学部	名誉教授 高橋 興	「地域おこし協力隊の活用による公営塾開設の成果と課題に関する研究」事業	新規	公営塾を開設している市町村に対するアンケート調査、訪問による聞き取り調査等を行い、学習塾の有無が教育環境の格差の要因であることや地域おこし協力隊員の確保に課題があることを確認した。	研究報告書を作成し、機関リポジトリで公開するとともに、県内全市町村教育委員会等に配布した。教育フォーラム」で報告予定。 リポジトリ等掲載：令和5年4月	300,000	300,000
9	柴田学園大学	准教授 前田 朝美	体づくりと体力向上のための食育～いつのミネラルが大切か～事業	3回目	タンパク質の摂取量の違いにより、骨ミネラルの尿排泄と骨吸収の違いが生じるか、牛乳を朝又は夕の時間帯で摂取した場合の変化を調査した。	研究成果を大学ホームページに掲載した。大学研究紀要に掲載予定。令和5年度に学会発表予定。 リポジトリ等掲載：令和5年4月	300,000	300,000

No	助成事業者名		事業名	区分	事業実施概要(事業廃止理由)	成果物の還元方法	助成決定額(円)	助成確定額(円)
10	柴田学園大学	講師 花田 玲子	青森県の地域住民を対象とした生活習慣病予防のための食事スタイル(Active cook)の研究と献立冊子を用いた提案事業	3回目	フレイル発症リスクの高まる高齢者を対象としたアンケート調査に基づき、Active cookの要素を取り入れたフレイル及び生活習慣病予防の食事スタイルを具体的に示す献立冊子を作成し、地域の高齢者に配賦し食事作りに活用いただいた。	大学祭及び出前講座等で研究成果(献立冊子)を配布し、フレイル及び生活習慣病予防の食事スタイルに関する知識を提供した。 リポジトリ等掲載：令和5年2月	300,000	300,000
11	柴田学園大学	助手 佐藤 梨沙	健康づくりにおける食の嗜好性を考える事業	2回目	ラットを用い、食餌中のタンパク質の違いによる高脂肪、高砂糖食の嗜好性への影響や、卵巣機能と食環境との関連について検討した。	研究成果を大学ホームページに掲載予定。 リポジトリ等掲載：令和5年6月	299,000	294,474
12	柴田学園大学	助手 齋藤 望	運動負荷によるエネルギー消費と嗜好性から肥満予防を検討する事業	2回目	健康な女子大生を対象に、エネルギー不足の状況を運動負荷により再現し、運動時の糖質と脂肪のエネルギー代謝の変化と、甘味と脂肪味の味覚閾値がどのように関連し、食選択に影響を与えるか検討した。	研究成果を大学ホームページに掲載した。令和5年9月の日本栄養改善学会学術総会において報告予定。 リポジトリ等掲載：令和5年4月	299,000	299,000
13	柴田学園大学	助手 織田 夏海	リンゴの摂取と肝臓機能に関する研究事業	2回目	リンゴの糖質溶液を摂取したラットで肝臓グリコーゲンが上昇することについて、リンゴ特有の効果なのか、他の果物の糖質または摂取条件で異なるかを比較した。	研究成果を大学ホームページに掲載予定。令和5年10月の大学祭でポスター掲示予定。 リポジトリ等掲載：令和5年9月	297,000	295,642
14	北里大学	准教授 長坂 善禎	RTKGNSSとステレオデプスカメラ、超音波センサを利用した植物生育調査の省力化事業	新規	ステレオデプスカメラ及び超音波センサを利用して、作物の葉長や葉幅・莖径・草高を計測するとともに、GNSSで計測位置を記録し、対象とする作物の位置情報と生育情報を同時に記録した。	研究成果を大学ホームページに掲載予定。農業食料工学会東北支部で研究内容を報告した。今回の研究に係る公開講座を令和5年度中に開催予定。 リポジトリ等掲載：令和5年3月	280,000	209,470

No	助成事業者名		事業名	区分	事業実施概要(事業廃止理由)	成果物の還元方法	助成決定額(円)	助成確定額(円)
15	地方独立行政法人青森県産業技術センター野菜研究所	栽培部長 前嶋 敦夫	ニンニクの生育ステージを外観から推定する試験研究開発事業	新規	ニンニクの外観の変化とりん片分化の有無の関係や、品種間差の有無を確認し、ニンニクの外観からりん片分化期を推定する方法を検討した。	野菜研究所検討会や成果発表会で研究成果を発表し、ニンニクの生育ステージと外観との関係に関する知識を提供した。 リポジトリ等掲載：令和4年12月	143,000	143,000

③公開講座開催事業

青森県内で行う公開講座で、教育、学術又は文化に係るものを開催する事業

[助成決定額] 16件 3,484,000円

[助成確定額] 16件 2,811,336円

No	助成事業者名		事業名	区分	事業実施概要（事業廃止理由）	成果物の還元方法	助成決定額(円)	助成確定額(円)
1	青森公立大学	学長 香取 薫	青森圏域連携中枢都市圏公開講座事業	継続	「青森圏域連携中枢都市圏ビジョン」を踏まえ、リモートワークを活用した移住についての公開講座を青森市浪岡地区、蓬田村及び今別町で各1回開催した。 [受講者数:18名]	リモートワーケーションの促進に関する講義を参加者に還元した。	300,000	195,900
2	青森公立大学	教授 藤井 一弘	2022年度青森公立大学大学院公開セミナー事業	継続	テーマを“Perspectives III”副題:「錯綜する諸課題への多様な視点」とし、教員の研究そのものを紹介する大学院公開セミナーを4回開催した。 [受講者数:62名]	教員の専門的研究の成果を市民に還元した。	212,000	157,457
3	青森公立大学	教授 佐々木 てる	公開講座ねぶた学事業	継続	「ねぶた学 メディアからみるねぶた祭」をテーマとした公開講座を6回開催した。 [受講者数:237名]	教員の専門的研究の成果を市民に還元した。	300,000	300,000
4	青森公立大学	講師 大森 史博	浅虫こども大学事業	新規	青森市内の小学生及び保護者を対象とし、「いつもの勉強とはちょっとちがう、世界が楽しくなる学びの時間」をコンセプトとする公開講座「浅虫こども大学」を2日間開催した。 [受講者数:34名]	青森市の小学生に世界が楽しくなる学びの時間を提供し、研究成果を還元した。	236,000	78,301
5	弘前大学大学院保健学研究科	助教 高間木 静香 助教 橋本 美亜 准教授 北島 麻衣子	育児中の母親のためのリフレッシュ講座事業	継続	子育て支援センターにおいて、アロマオイルを用いたエアーフレッシュナー作りなど、「育児中の母親のためのリフレッシュ講座」を12回開催した。 [受講者数:58名]	公開講座の内容を大学ホームページに掲載した。	165,000	165,000

No	助成事業者名		事業名	区分	事業実施概要（事業廃止理由）	成果物の還元方法	助成決定額(円)	助成確定額(円)
6	弘前大学 人文社会科学部	准教授 内藤 周子	経験学習による会計教育に関する公開講座開催事業	新規	経験学習による会計教育の第一人者である菅原智教授(関西学院大学)を講師とし、「LEGOでわかる経営戦略！ACCOUNTING ACTIVE LERNING」をテーマとした公開講座を開催した。 [受講者数:20名]	参加者に対し、能動的・主体的に学ぶレゴを使用した経営戦略及び簿記・会計に関する知識を提供した。	300,000	283,718
7	青森中央学院大学	学長 佐藤 敬 教授 成田 昌造	青森中央学院大学特別公開講座事業	継続	「人口減少が続く地域社会における教育の在り方を考える～高校魅力化による地域活性化の方策を探るその⑤～」をテーマとし、基調講演及びパネルディスカッションからなる公開講座を開催した。 [受講者数:110名]	講座に参加した自治体・教育行政関係者や一般市民に高校立地自治体が抱える課題や教育の質と機会を担保しながら地域を活性化させていく視点を提供した。 公開講座の内容を大学ホームページに掲載した。	241,000	208,477
8	青森中央学院大学	学長 佐藤 敬 教授 成田 昌造	青森中央学院大学市町村長リレートーク事業	継続	「人づくりと地域社会」をテーマに、青森県及び秋田県の市長・町長を講師として、各自治体の特色や施策、課題やその解決方策、将来のまちづくり戦略に関する講座を3回開催した。 [受講者数:278名]	公開講座の内容を大学ホームページに掲載した。	207,000	125,709
9	青森中央学院大学	学長 佐藤 敬 教授 成田 昌造	青森中央学院大学まちなかキャンパス市民講座事業	継続	青森中央学院大学サテライトキャンパス等において、外国の文化・歴史や高齢者の健康・社会参加等をテーマとした公開講座を13回開催した。 [受講者数:322名]	公開講座の内容を大学ホームページに掲載した。	262,000	262,000
10	青森中央学院大学 地域マネジメント研究所	所長 小松原 聡	青森中央学院大学地域マネジメント研究所ビジネスセミナー事業	継続	「地域活性化のためのDXの考え方とその活用事例ー観光・まちづくりを主テーマとして」をテーマとする公開講座を開催した。 [受講者数:30名]	公開講座の内容を大学ホームページに掲載した。	218,000	138,879
11	青森中央短期大学	学長代行 石田 憲久 教授 鈴木 寛康 事務局次長 寺井 和夫	青森中央短期大学公開講座事業	継続	「災害と食:日本栄養士会災害支援チーム(JDA-DAT)による被災地の支援活動」をテーマとした公開講座を開催した。 [受講者数:151名]	参加者に対し、緊急時の栄養課題等への対応と平時からの備えに関する知識を提供した。 公開講座の内容を大学ホームページに掲載した。	155,000	122,000

No	助成事業者名		事業名	区分	事業実施概要（事業廃止理由）	成果物の還元方法	助成決定額(円)	助成確定額(円)
12	青森中央短期大学	学長代行 石田 憲久 教授 鈴木 寛康 事務局次長 寺井 和夫	青森中央短期大学連続公開講座事業	継続	減災・防災をテーマとする公開講座を3回開催し、幅広い世代の方が減災・防災について考える機会を提供した。 [受講者数:45名]	公開講座の内容を大学ホームページに掲載した。	121,000	121,000
13	柴田学園大学	教授 一戸 智之	柴田学園大学「わくわくカレッジ」事業	継続	「親子で一緒に楽しめるおもちゃを作ろう！～コロナ禍の遊びにどう向き合うか？～」等をテーマとする親子を対象とした公開講座を9回開催した。 [受講者数:125名]	こども発達学科教員の専門領域を実践的に学ぶ多様な講座の開催により、地域の子どもたちの健全育成や地域コミュニティの活性化に貢献した。	99,000	99,000
14	柴田学園大学短期大学部	学長 島内 智秋	柴田学園大学短期大学部公開講座事業	継続	食文化・調理、教育・ビジネスキャリア、子ども・保育等の分野から、演習、実習等を中心に、学術及び生活文化と密着した内容の公開講座を12回開催した。 [受講者数:143名]	公開講座の内容を大学ホームページ等に掲載した。	300,000	260,035
15	青森中央経理専門学校	校長 石田 憲久 教諭 塚本 大広	青森中央経理専門学校公開講座事業	継続	ファイナンシャルプランナーを講師とし、「自分にプラスの人生設計を考えてみよう！家計と資産形成のライフプランセミナー」をテーマとする公開講座を開催した。 [受講者数:23名]	参加者に資産形成の大切さやお金との付き合い方を考えるきっかけを提供した。	162,000	115,952
16	青森中央文化専門学校	校長代行 石田 憲久 教諭 竹洞 春佳	青森中央文化専門学校連続公開講座事業	継続	伝統文化こぎん刺し及びビーズアクセサリーについての公開講座を10回開催した。 [受講者数:71名]	こぎん刺し、ビーズアクセサリーについて知識と技術を提供し、初心者、経験者ともに新たなデザインや技法の習得につながった。	206,000	177,908

④学術・文化振興事業

青森県内に事務所を有する等一定の要件を満たす団体が県内で行う地域の学術・文化の振興に寄与する事業

[助成決定額] 3件 812,000円
 [助成確定額] 3件 741,000円

No	助成事業者名		事業名	区分	事業実施概要（事業廃止理由）	成果物の還元方法	助成決定額(円)	助成確定額(円)
1	青森公立大学	理事長 石川 浩明	国際芸術センター青森における地域資源を活用したワークショップ等事業	2回目	津田道子ワークショップ「オーディオガイド #4ここにたつ青森編」を開催した。	市民及び学生約20人を交えたワークショップを開催し、野外彫刻を捉えなおす機会を提供することで、地域の学術・文化の振興に寄与した。	300,000	229,000
2	青森公立大学	学長 香取 薫	青森まるっとよいどころ祭り開催事業	3回目	青森県観光物産館アスパムにおいて、「青森まるっとよいどころ祭り」を開催し、県内の10市町村の特産品を学生がPRした。	参加自治体の特産品を販売し、各地域のPRを図った。	300,000	300,000
3	青森中央短期大学	教授 前田 美樹	青森中央短期大学「まちなかdeミュージカル」公演事業	3回目	幼児保育学科の学生によるミュージカル「人魚姫」の公演を行い、教育・研究活動に基づく身体表現・音楽・美術の総合芸術であるミュージカル観劇の機会を提供した。	公演後に大学ホームページでオンデマンド配信を行った。	212,000	212,000

⑤学術図書出版事業

研究の成果を発表するために刊行する学術図書の出版事業

[助成決定額] 1件 300,000円
 [助成確定額] 1件 300,000円

No	助成事業者名		事業名	区分	事業実施概要（事業廃止理由）	成果物の還元方法	助成決定額(円)	助成確定額(円)
1	青森県立保健大学	助教 葛西 孝幸 石田 賢哉(共同研究者)	学術図書出版(題名『続編:福祉課題への挑戦～青森の未来へ～(仮)』)事業	継続	令和2年に出版した『福祉課題への挑戦～青森の未来へ～』の続編として、青森県内の社会福祉の実践について、県内の福祉系大学教員、実践者及び大学生がまとめた『続・福祉課題への挑戦～青森の未来へ～』を出版した。	県内の公立図書館に寄贈した。 青森県、青森市、日本社会福祉士会等の関係機関に献本した。 電子書籍ダウンロードにより広く公開した。 公開講座において掲載内容を紹介した。	300,000	300,000

[青森公立大学の国際交流を中心とした教育活動に対する助成]

⑥人材育成事業

学生の留学及び短期語学研修事業（公募により行うもの）

[助成決定額] 2件 2,515,000円
 [助成確定額] 0件 0円

No	助成事業者名		事業名	区分	事業実施概要（事業廃止理由）	研修期間・人数	助成決定額(円)	助成確定額(円)
1	青森公立大学	理事長 石川 浩明	青森公立大学学生の ニュージーランド短期語学 研修事業	継続	【事業廃止】 新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響によるニュージーランドへの渡航制限及び入国制限により事業の実施が困難なため事業廃止。	—	1,854,000	0
2	青森公立大学	理事長 石川 浩明	青森公立大学学生のオン ライン語学研修事業	継続	【事業廃止】 ニュージーランドワイカト大学は希望する学生がいなかったため、英国スターリング大学はスターリング大学の都合により、米国ボストン大学については授業料の調整がつかず、リモート留学の実施が困難なため事業廃止。	—	661,000	0

⑦教員研修事業

教員の海外研修事業（公募により行うもの）

申請なし

⑧国際交流・教育事業

国際交流に関する教育事業

申請なし